

※「はらまち九条の会」は、超党派の自由な市民のゆるやかな会で、匿名でもけっこうです。現在の会員405名。さらに会員を募集中です。年会費千円をお願いしています。



九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 **No.127**

2010(平成22)年3月10日(水)発行

<65年前の1945(昭和20)年、終戦の年の3月10日は、東京大空襲の日>

在日米軍幹部に263個の勲章を授与



■アメリカ軍による東京大空襲で、東京の10万人の非戦闘員の命が奪われました■しかし昭和39年、この無差別攻撃を指揮した米軍カーチス・ルメイ将軍<写真>には「航空自衛隊の育成に貢献した」との理由で勲一等旭日大綬章が授与されます。ところが驚いたことに、<3月11日の『東京新聞』>によると、ルメイだけでなく実は戦後50年間に、在日米軍幹部に263個もの勲章を日本政府は授与していて、しかもすべて国民へ公表はしていません■安保体制の絶対堅持を前提に、「思いやり予算」をはじめ、「イラク侵攻の承認」「インド洋での給油」「普天間基地移設問題」等々、米軍への貢献や異常なまでの気のつかいようと根っ子は同じです●評論家の佐高信は「勲章を出した日本の政治家は、大空襲で命を失った庶民が目に入っていない。タカ派どころか、バカ派の売国奴だ。国民を無視したこんな空虚なことはもうやめたらどうか」と述べています。

4月24日(土)1時~2時「はらまち九条の会」総会
2時~4時「蓮池透さん講演会」
会場：原町区 サンライフ南相馬 5時から懇親会も!



●「総会」は多くの会員のご出席をお願いいたします。「総会資料」を4月中旬に送付いたしますので、ご意見やご質問は、4月20日頃まで事務局員にお申し出ください。建設的なご意見をお寄せください。

◆「蓮池透さん講演会」は一般の方々もご入場大歓迎。入場の際、「協力料500円」をお願いいたします。

◆「蓮池透さん講演会」◆ 拉致問題解決は「制裁」よりも「対話」で!



蓮池透さん ■1955年新潟県柏崎市生まれ。東京理科大卒。東京電力に勤務。現在は退職。拉致から帰国の蓮池薫さんは実弟。■1997年から2005年まで「家族会(正式には、北朝鮮による拉致被害者家族連絡会)」事務局長。その後しばらくの間、副代表をつとめた。以前は「憲法9条は拉致解決に影響する」との発言もあったが、現在は「9条を変えたら日本は核武装や軍備増強につながる」と話されています。現在、著作出版や日本各地で講演活動を展開中で、これが福島県内初の講演会となります。

チケットの購入や販売のご協力ありがとうございます

3月7日(日)朝日座 映画「いのちの山河」上映会に310名が入場

小雪の舞い散る
寒い一日でした!

3月9日付
『福島民報』コピー

「憲法」と無医村
描く映画に400人
原町

日本国憲法を題材にした劇映画「いのちの山河」日本の青空Ⅱ」南相馬市上映会は七日、同市原町区の朝日



「いのちの山河」を鑑賞する市民
 座で開かれた。
 はらまち、小高両九条の会でつくる上映委員会主催。市教委、朝日座を楽しむ会、福島民報社などの後援。三回の上映で合わせて約四百人が鑑賞した。
 映画は大沢豊監督作品。長く無医村だった岩手県の旧沢内村で「生命尊重」の理念を掲げ、憲法二十五条を盾に高齢者と乳児の医療費無料化を実現した深沢辰雄村長の奮闘のドラマを描いている。
 五月十五日にも同市小高区の浮舟文化会館で上映会を開く。上映開始時間は午前十時、午後二時、同六時半。

「涙が止まらなかった」「今の政治家に見て欲しい」

2月「いのちの山河」試写会、3月7日(日)朝日座上映会感想

- 「雪深い貧しい村なのに、全国初の老人と乳児の医療無料化を実行したことに驚いた」(20代女性)
- 「主人公の深澤晟雄(まさお)村長は本当に偉い。自分の命を縮め59歳で死んでしまい、雪の葬儀のシーンでは涙が止まらなかった」(60代女性)
- ◆「ああいう政治家がたくさん出てほしい。今の政治家、議員さんに是非見てもらいたい」(60代男性)
- ◆「前回の『日本の青空』は理屈っぽかったけど、この映画は分かり易かった」(60代男性)
- 「憲法25条のことを初めて知りました。良かったです」(20代女性)
- 「この映画を旅先の名古屋で見ようとしたが見ることができず、原町上映会を知り、福島から夫と見にきました。良かったです。」(50代女性)
- ◆「村長の奥さん役のとよた真帆のファンで見に来たが、村長役の長谷川初範も初めての主人公役だったそうだが良かった」(70代男性)
- 「撮影の苦労話を『徹子の部屋』で知っていた。良かった」(50代女性)
- ◆「あんな小さな村でやれたことを、市でもやれないことはない。首長や議員や職員の「市民第一」という意識の問題だ。ハコモロではない」(60代男性)
- 「朝日座は寒かったけど、膝掛けを貸してくれて有り難かった」(70代女性)
- 「今度朝日座で映画会を開くときは、暖かい季節に開いて下さい」「いつも**九条の会**の行事は、寒かったり雪や雨の時が多い」(60代女性)
- 「医療機関に勤めているが、あのようなことを全く知らなかった。大変勉強になりました」(20代女性)
- 「私はあまり感動しないタイプですが、一緒に見ていた娘と、はじめから泣き通してました」(40代女性)
- ◆「映画のはじまりから泣いた。これを機会に何度も入会のお誘いのあった**九条の会**に入った」(70代男性)
- ◆「義理でチケットを買って入場したが、正直行って良かった」(40代男性)
- 「事務局でこういう良い映画会を開いていただいて、感謝しています。おすすめていただいて、本当にありがとうございました」(70代女性)
- 「大熊町から子供を連れて夫と3人で見にきました。高校の福祉の授業で沢内村が出て来るので、興味深くよく理解できました。事務局員の方々は寒い雪の一日、朝日座でお世話してお疲れ様でした」(50代女性)
- ◆「沢内村の雪の情景が、外の雪とマッチしていた」(10代男性)
- 「5月にまた小高であるので、もっとみんなにすすめたい」(30代女性)



映画の主人公
深澤晟雄村長

- ・ご後援やご推薦、チケット購入や販売のご協力、心より感謝申し上げます。
- ・朝日座の座席205席中、1回目(10時)150名、2回目(2時)120名、3回目(6時)40名で、計310名の入場があり、主催した「小高・はらまち九条の会」事務局では一応成功だったと考えています。この映画会に入場され、3名の方が「はらまち九条の会」に新たに入会されました。
- ・「会」の行事にはなぜか「雨」「雪」「寒さ」「暑さ」が付きまといまふ。「雨男」や「雨女」がいるのかも？昔から「月に叢雲、花に風」と言いますが...

チケットは
そのまま使えます！



「いのちの山河」 第2回上映会

05月15日(土)

- ① 10時
- ② 2時
- ③ 6時30分

○小高区
浮舟文化会館

チケット販売所

<原町区>

国際交流協会、南相馬市市民活動サポートセンター、花吹雪、文芸堂書店、北洋舎クリーニング、おおうち書店、アサヒ理容院、平田小児科医院、れすとらんぱびよん、井上薬局

<小高区>

小松屋旅館、自然食品の店あいさい家族、サトウ教材社、広文堂書店小高店、セブンイレブン小高店

○あるいは、「はらまち九条の会」「小高九条の会」の事務局員へ直接ご連絡ください。

5月15日(土)の小高区浮舟文化会館での第2回上映会も、みなさんの力で成功させましょう！

○平和とは、戦争がない状態だけでなく、一人ひとりの命が大切にされ、衣食住が確保でき、人種や性別などで差別されないことです。貧困、飢餓、抑圧や差別のない社会で、**憲法9条**(戦争の放棄)、**14条**(法の下での平等)、**24条**(婚姻・個人の尊厳と両性の平等)、**25条**(最低生活の保障・国の社会保障制度)などと深く結びついています。「いのちの山河」はそれがテーマの史実の映画です。